

雪国あおもりの暮らしを支える道づくり(防災・安全)

事業主体 青森県
計画期間 H26~H30

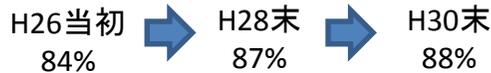
■ 計画の概要

計画の目標

冬期間において安全で円滑な道路交通と安全で快適な歩行者空間を確保するため、除雪と併せて防雪・消融雪施設等の整備を行うとともに老朽化した施設を更新し、安全・安心・快適な雪国あおもりの暮らしを支える道づくりをめざす。

成果目標

積雪時においても、道路空間が確保される延長を84%(H26)から88%(H30)まで向上させる。



事業内容

積雪寒冷特別地域(県内全域)での防雪・消融雪施設整備等の雪寒地域道路整備事業を実施

代表工区

- 国道280号 瀬辺地~広瀬工区(融雪溝整備) L=5.1km
- 富范薄市線 田茂木工区(防雪柵整備) L=0.4km
- 弘前岳鯨ヶ沢線 中村町工区(堆雪幅整備) L=0.9km etc.

■ 中間評価の結果

事業実績

➢ 事業数による進捗 【計画全体39事業】
着手率51%(20事業)、完了率41%(16事業)

➢ 完成した代表事例
川除木造線 木造川除工区(防雪柵整備) L=0.4km



整備前

整備後

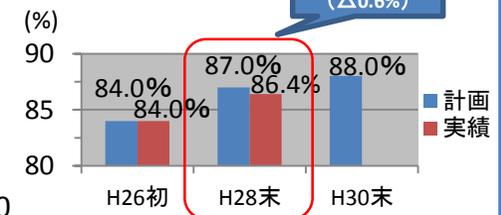
整備効果

路面の吹き溜まり解消

道路上の視程障害防止

成果目標(H28末)の達成状況

流雪溝・防雪柵・雪崩対策などの施設整備によって積雪期も道路空間が確保される率(雪道安全空間確保率)=
(雪道安全空間確保延長 / 雪道安全空間確保整備計画全体延長) × 100



■ 今後の方針

用地取得の遅れ等から中間目標値を下回っているが、最終目標達成に向けて、完了が間近な工区への予算優先配分を行うなど引き続き事業の進捗を図る。

【社会資本整備総合交付金 中間評価結果 総括表】

H30.3

青森県 県土整備部 道路課

計画番号	計画の名称	交付団体	着手年次	完了予定年次	計画の成果目標 (定量的指標)	要素事業の進捗状況 H28時点					評価指標(中間)の実現状況					今後の方針	
						全体事業数 (※1)	評価指標母数	実施中事業数	完成済み		H26当初現況値	H28末中間評価					
									事業数	延長等		目標値	実績値	増減	増減の理由等		H30末最終目標値
4	安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり(防災・安全)	青森県	H26	H30	歩行空間が確保される延長を21.6km(38%)から40.5km(71%)まで向上させる。	261	26	22	4	15.7 km	38.0%	52.0%	40.0%	-12.0%	限られた予算で事業を実施しているため。また用地取得の遅れによる。	71.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
					老朽化等により損傷した舗装路の要修繕箇所整備率を19.8%(H26)から100.0%(H30)へ向上させる。	261	84	36	48	117.7 km	19.8%	61.1%	57.1%	-4.0%	限られた予算で事業を実施しているため。	100.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
5	雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	青森県	H26	H30	積雪時においても、道路空間が確保される延長を84%(H26)から88%(H30)まで向上させる。	67	39	20	16	18.5 km	84.0%	87.0%	86.4%	-0.6%	用地取得の遅れによる。	88.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
18	計画的・戦略的な維持管理を推進するあおもりの道づくり(防災・安全)	青森県	H26	H30	長寿命化修繕の対応率を41.5%(H26)から82.1%(H30)まで向上させる。	257	346橋	—	—	173橋	41.5%	61.9%	61.8%	-0.1%	鉄道関係機関との調整の結果により、実施時期を変更したことによる。	82.1%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
19	雪国あおもりの暮らしを支える道づくり(防災・安全)	青森県	H26	H30	積雪時においても、道路空間が確保される延長を84%(H26)から88%(H30)まで向上させる。	61	39	20	16	18.5 km	84.0%	87.0%	86.4%	-0.6%	用地取得の遅れによる。	88.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る

※1 事業数はA基幹事業+C効果促進事業+その他関連する事業の合計。